

経営学史学会第 29 回全国大会プログラム

5 月 28 日(金)

16:00	運営委員会 (オンライン 会議用 ZOOM:)
17:00	理事会 (オンライン 会議用 ZOOM:)

5 月 29 日(土)

シンポジウム 135 分 (一報告あたり 20 分、質疑応答を含む討論 25 分)
統一論題報告 130 分 (報告 30 分×2、討論 20 分、質疑応答 60 分)

9:30	受付 (会場 OPEN)
シンポジウム：28 回大会統一論題を受けて A 会場 (ZOOM:)	
9:40 (45min)	(第一報告) 報告者 村田 和博 (下関市立大学) 論 題：「 19 世紀前半期イギリスにおける機械の効果と影響 —バベッジ、ユア、及びミルの所説— 」 討論者 廣瀬 幹好 (関西大学)
10:25 (45min)	(第二報告) 報告者 宗像 正幸 (神戸大学名誉教授) 論 題：「 技術概念、技術観の変遷とその意義—A I 時代を見すえて— 」 討論者 加藤 俊彦 (一橋大学) < 休憩 5 分 >
11:15 (45min)	(第三報告) 報告者 桑田 耕太郎 (東京都立大学) 論 題：「 科学技術としての AI と組織のインテリジェンス： バーナード理論、サイモン理論から AI 時代の経営学へ 」 討論者 磯村 和人 (中央大学)
12:00	総司会者 福永文美夫 (久留米大学)
昼 食・理事会 (オンライン 会議用 ZOOM:)	
13:00 (5min)	開会の辞 (A 会場 オンライン ZOOM:) 第 29 回全国大会実行委員長 松田 健 (駒澤大学)
13:05 (30min)	基調報告 (A 会場 オンライン ZOOM:) 報告者 三井 泉 (日本大学) 論 題：「 問題発見のプロセスとしての経営学史 —「モダン—ポストモダン」の先に?— 」 13:35 司会者 勝部伸夫 (専修大学)
統一論題 (A 会場 オンライン ZOOM:)	
13:40 (30min)	<サブテーマ 1：事業と社会> (第一報告) 報告者 風間信隆 (明治大学) 論 題：「 資本主義の再構築と多元的企業統治モデル —シュタインマン・フリーマン・ドラッカー学説の現代的意義— 」
14:10 (30min)	(第二報告) 報告者 小山巖也 (関東学院大学) 論 題：「 市場課題解決装置としての企業から社会課題解決装置としての企業へ 」
14:40 (20min)	討論者 井坂康志 (ものづくり大学) < 休憩 10 分 >
15:10 (60min)	質疑応答 司会者 柴田明 (日本大学)
16:10	
16:15-	会員総会

5月30日(日)

自由論題報告 60分(報告 30分、質疑応答 30分)

統一論題報告 130分(報告 30分×2、討論 20分、質疑応答 60分)

9:30	受付 (会場 OPEN)
------	--------------

自由論題				
	A会場 (ZOOM:)	B会場 (ZOOM:)	C会場 (ZOOM:)	D会場 (ZOOM:)
10:00	報告者：杉浦優子 (星城大学) 「ノーマル・アクシデント理論と高信頼性理論の適用範囲－COVID-19 が示唆するもの－」 チェアパーソン：中條秀治 (中京大学)	報告者：高橋哲也 (東京富士大学) 「社会的状況の変化と職場の人間関係の変化－人間関係論再訪－」 チェアパーソン：藤沼 司 (青森公立大学)	報告者：堀籠 崇 (新潟大学) 「地域経営学への視座－二元論を超えて」 チェアパーソン：杉田 博 (石巻専修大学)	報告者：津久井稲緒 (長崎県立大学) 「企業の社会的責任論におけるコレクティブインパクトの把握－責任概念をふまえて－」 チェアパーソン：渡辺敏雄 (関西学院大学)
11:00	報告者：高木孝紀 (白鷗大学) 「両利き組織のマネジメント－組織が長期存続するメカニズムの解明－」 チェアパーソン：梶脇裕二 (龍谷大学)	報告者：森谷周一 (関西学院大学) 「ミドルマネジャーの経営学史：領域横断的な検討による全体像の探求」 チェアパーソン：辻村宏和 (中部大学)	報告者：中原 翔 (大阪産業大学) 「『往還の学問』としての〈経営学〉：フンボルト理念に基づくコマシラバスの経営学的意義」 チェアパーソン：池内秀己 (九州産業大学)	報告者：鈴木貴大 (日本大学) 「トップ・マネジメントと現場の乖離問題－経営倫理に依拠したリスク対応の観点から－」 チェアパーソン：河辺 純 (大阪商業大学)
12:15 13:10	昼食・理事会 (オンライン 会議用 ZOOM:)			
統一論題 (A会場 オンライン ZOOM:)				
13:10 (30min)	<サブテーマ2：組織と管理> (第三報告) 報告者：山下剛 (北九州市立大学) 論 題：「コロナ禍と組織における「コミュニケーション」－ドロッカーを中心にして－」			
13:40 (30min)	報告者：浦野充洋 (関西学院大学) 論 題：「コロナ禍における働き方の変容と経営組織」			
14:10 (20min)	討論者：西村香織 (九州産業大学)			
14:40 (60min)	< 休憩 10分 >			
15:40	質疑応答			
15:45 15:55	司会者 上林憲雄 (神戸大学)			
15:45 15:55	大会総括 閉会の辞		経営学史学会理事長 勝部 伸夫 (専修大学) 第29回全国大会実行委員長 松田 健 (駒澤大学)	

ZOOM 割り当て

統一論題		
自由論題A会場	駒A	確定次第お知らせ
自由論題B会場	駒B	確定次第お知らせ
自由論題C会場	学A	確定次第お知らせ
自由論題D会場	学B	確定次第お知らせ

大会本部	
駒沢キャンパス本部	種月館 2F
関西サテライト神戸	確定次第お知らせ
BACK UP 1	確定次第お知らせ
BACK UP 2	確定次第お知らせ

経営学史学会第29回全国大会（オンライン）のご案内

令和3年4月

謹啓

陽春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第29回大会の予稿集が完成いたしましたので、お届け申し上げます。

すでに「経営学史学会通信」ならびに学会HP、MLにてご承知のことと存じますが、新型コロナウイルスの感染を防止する目的の下、WEB会議システム（Zoom等）を活用し、来る5月28日（金）より30日（日）駒澤大学を事務局として経営学史学会第29回全国大会をオンラインにて開催いたします。

現時点ではZoomのIDやサテライト事務局等、まだ確定しておりませんが、5月中旬になりましたら学会HPならびにML等にて皆さまにお知らせいたします。

第29回全国大会の統一論題は、

「時代の問題」と経営学史— COVID-19が示唆するもの —

サブテーマ 1:「事業と社会」事業活動と社会の関係について、「コロナ禍」が示唆するもの。

サブテーマ 2:「組織と管理」組織と管理(組織行動・構造、権限関係、働き方、リーダーシップ等)のあり方について「コロナ禍」が示唆するもの。

です。

また自由論題でも大変魅力的なテーマでのご報告が予定されております。

オンライン開催は経営学史学会では初の試みであり、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から拠点や使用設備の上でさまざま制約がございますが、関係者一同実り多き大会にできるよう、全力で準備に努めております。実行委員会関係者一同、会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

敬白

記

期 間 2021年5月29日（金）～30日（日）

会 場 オンライン開催（ZOOM）ID等の必要な情報は5月中旬に、改めてHP、ML等を通じてご案内申し上げます。

参加費 無料

経営学史学会第29回全国大会実行委員会

【問合せ先】

経営学史学会 第29回全国大会実行委員会事務局

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

駒澤大学第二研究館

経済学部 2519 松田研究室

TEL：03-3418-9365（直通）

E-Mail：shmt29th@komazawa-u.ac.jp